

教育目標

確かな学力



学校の教育目標  
 ・かんがえる子ども  
 ・やさしい子ども  
 ◎たくましい子ども



豊かな心



健やかな体

目指す児童・生徒像

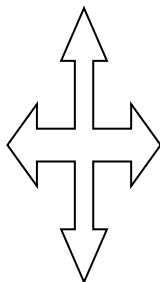
運動を楽しみ、主体的・継続的に体力づくりに取り組む児童

家庭との連携

- 子どもの体力の現状理解  
 ・新体力テスト
- 基本的な生活習慣の定着
- 体育的行事・地域行事への参加
- 学校公開において体育科授業や保健授業を公開

地域との連携

- 地域少年スポーツとの連携
- 体育的行事への参加の要請



取組の柱

特別活動等の取組

- 体育集会の充実
- 保健・給食委員会、運動委員会、集会委員会などの活動の充実

体育・保健体育の授業改善

- 発達段階に応じた「フラッグフットボール」の実践  
 <研究の視点>
- ゲームの工夫
- 戦術学習の工夫

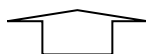
食育・その他・放課後等の取組

- 全校なわとび運動や鉄棒・マラソンの奨励
- 保健委員会や栄養士を活用した健康教育、食育の充実

本年度の本校の一枚一取組

特別活動・生活指導による運動の日常化

東京オリンピックに向けたフラッグフットボールの充実



子どもたちに求められる体力

- ・楽しみながら運動する体力づくり
- ・自ら進んで継続的に行う体力づくり
- ・共に学びあいながら行う体力づくり



本校児童・生徒の実態

- ・夜更かし、偏食、朝食を食べないなど、生活習慣の乱れが見られる。
- ・放課後や休日など体を動かす機会が少ない児童も多い。
- ・新体力テストの結果が全体に、都の平均値よりも下回っている。
- ・新体力テストの結果から体力が年々低下傾向にあることがわかる。
- ・休み時間に外に出て遊んでいるが、体力が向上しない。

—体力テストの到達目標—

全体的に握力、立ち幅跳び、ソフトボール投げの数値が低いので、中野スタンダードの通過率を現在の50%から、70%以上にできる限り近づくよう取り組む。